

連合 徳島



JTUC-TOKUSHIMA

NO.208 (2009年12月22日)

発行人・小松義明 編集人・齋藤英司

日本労働組合総連合会徳島県連合会

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35-1

徳島県労働福祉会館6F

088-655-4105 Fax 088-655-4113

E-MAIL info@tokushima.jtuc-rengo.jp

すべての働く者の連帯で、希望と安心の社会を築こう

当面の
日程

12月22日(火) 第1回組織財政検討委員会 10時
20周年記念事業第3回PJ会議 13時
中央地協発足準備委員会 15時
26日(土) 連合徳島地域ユニオン第2回定期総会
11時(労館502号)

すべての労働者の雇用と 生活の安定を実現しよう!



2010 春季生活闘争徳島県共闘会議の
発足総会が12月17日、阿波観光ホテル
で開催され、各構成組織代表者など64
人が出席した。

総会は、河村副会長の開会あいさつで
始まり、議長に平井中小対策本部長を選
出、主催者を代表して小松連合徳島会長
は「2010 春季生活闘争は『すべての働く
者の処遇改善』と『政策・制度実現の取
り組み』を車の両輪として位置付けた取
り組みを推進しなければならない。構成
組織・単組には『全労働者を対象にした
賃金・労働条件維持・改善』と『格差是
正』の取り組みを。また、県春闘共闘会

議では地域ミニマムの取り組み、中小・
地場組合の賃金水準確保に全力を挙げて
取り組みたいと考えている。すべての力
の結集をお願いします」とあいさつ。

続いて、齋藤事務局長から総会議案の
提起があり、「総合生活改善に向けた中長
期的目標を設定し、政策制度を柱とした
景気回復・雇用確保の実現、賃金は中小・
地場組合やパート労働者等の『底上げ』
に全力を挙げるとともに、不払い残業撲
滅などの社会的運動を進める」とした基
本的な考え方のもと、「全ての組合は、賃
金カーブ維持分を確保した上で、物価上
昇に見合うベアによって、勤労者の実質
生活を維持・確保することを基本とし、
マクロ経済の回復と内需拡大に繋がる労
働側への成果配分の実現をめざす。また、
賃金カーブ維持分の算定が困難な組合は、
5,000円以上の確保を目安に要求を設定
する」などの要求を原則2月末までに提
出することや小松議長をはじめとした県
春闘共闘会議役員選出を提案し、質疑の
後、全体の拍手で承認された。



藤岡副議長の閉会あいさつの後、小松
議長の音頭で団結ガンバローを三唱し、
発足総会を終了した。

【役員体制】

| | | |
|-------|----|-------------|
| 議長 | 小松 | 義明(連合徳島会長) |
| 副議長 | 国見 | 聖(民労連代表) |
| " | 品山 | 勝利(民間大手代表) |
| " | 平井 | 敏郎(民間中小代表) |
| " | 藤岡 | 一雄(公務労協代表) |
| " | 森本 | 佳広(地域部会代表) |
| 事務局長 | 齋藤 | 英司(連合事務局長) |
| 事務局次長 | 加村 | 祐志(〃副事務局長) |
| 幹事 | 一森 | 幸夫(民労連事務局長) |
| " | 河村 | 和男(民間大手部会) |
| " | 宮本 | 武司(民間中小部会) |
| " | 仲村 | 省三(公務労協部会) |
| " | 鹿山 | 順司(地域部会) |

緊急年末助け合い 行動にご協力を!

昨年末の世界同時経済恐慌が起こって
以来、連合徳島には毎日のように非正規
労働者から、解雇や不当な労働の相談が
寄せられています。ただ、相談に寄せら
れるのは氷山の一角であり、今生活の糧
を失い、途方に暮れている人がいます。

連合徳島では女性・青年委員会が中心
となって、昨年同様に年末助け合い行動
を実施しております。皆様のご支援・ご
協力をよろしくお願いいたします。

支援カンパ

カンパ金は次の口座まで。

四国労働金庫徳島支店(普通)

No. 3054489

名義 連合徳島

物資カンパ

電子レンジ、掃除機、テレビ・・・事
前にメーカーと型番をお知らせくだ
さい。(使用できるものに限る)

米、洗剤、タオル(新品)など

集約〆切 2009年12月28日(月)